

令和6年度 園経営計画 足立区立梅田保育園

園長 小鳥 有子

1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもを主体として尊重し、最善の利益を考慮しながら、豊かな経験のできる保育を実践する。
- (2) 保護者、地域、関連機関との連携や協働を強め、多角的な視点で子どもの育ちを支えていく。
- (3) 日々の保育内容をPDCAサイクルにて検証し、グループディスカッションにて活発な意見交換を行いながら、実践を繰り返して教育・保育の質の向上につなげる。

2 園の現状

- (1) 全職員で子どもの育ちを見守る風土がある。子どもたちは安心して興味関心のある遊びを満足いくまで楽しんでいる。子どもの気づきやつぶやきに、保育者が愛情をもって応答的に関わり、思いを受け止めていくことで安心して自己表現し、遊びを深めている。
- (2) 保護者や地域の協力を得て行う食育や和太鼓などでは、栽培、収穫、調理体験を通して、食材への興味関心や食物への感謝の気持ちが育まれている。友達と共に楽しみながら挑戦する経験を通して、励まし合い、最後まであきらめずやり抜く力が育っている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもたちが主体的に関わり、豊かな経験ができる保育環境づくりを推進する。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもが自ら関わりたくなる環境づくりを行う。	ア 子ども達の発達や特性に合わせて環境を変化させ、わくわくできる環境設定を行う。 イ 異年齢交流を通して、社会性や協調性を育む。
(2) 身近な自然に興味を持ち、好奇心や探求心を深めていける環境づくりを行う。	ア 荒川土手の自然に触れ、自然物を使った遊びを十分楽しむ、様々な体験ができるよう時間や時期などを工夫する。 イ ハーブや季節によって色が変わる箒草などで、視覚・嗅覚、触覚などを使って遊べる環境を整える。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	読書活動を通して、豊かな感性を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 絵本の在庫数や種類を充実させ、たくさんの物語に出会える環境づくりを行う。	ア 絵本だよりを通じてアンケートを行い、保護者の意向を取り入れながら貸し出し図書の実態を図る。 イ 図書館から毎月50冊の絵本を借りる。
(2) 家庭での読み語りを推進する。	ア 月1回行う保育者による読み語り体験に親子で参加してもらい、絵本の楽しさを保護者に伝えていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	保育の見える化を推進し、教育・保育の質の向上を図る。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもや保護者に、わかりやすい情報発信を行う。	ア 連絡帳や活動記録、保育内容をドキュメンテーションで伝える際、遊びで何が育っているかなど子どもの育ちを知らせていく。写真を園内掲示し保育の見える化していく。
(2) 互いの保育を見合う習慣を確立し、子ども理解につなげる。	ア 保育内容や子どもへの対応などについて多面的な意見交換を毎週連絡会にて行う。記録した内容を、全職員で共有して保育に活かす。